

2025 年度 ハイブリッド給湯機に関する調査 業務委託仕様書

1. 目的と背景

2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、エネルギーの効率的利用と再生可能エネルギーの最大限の活用に寄与するヒートポンプの普及は重要であり、先般のエネルギー基本計画においてもヒートポンプの普及が主要な対策として取り上げられている。一方で、家庭部門においてヒートポンプの普及は未だ途上であり、特に集合住宅におけるヒートポンプの導入促進の実現が課題として顕在化しているところである。

集合住宅は、設置スペースや重量等の事情により一度給湯設備が設置されると熱源が長期にわたり固定化する「ロックイン」が生じやすい傾向にあるため、新築の段階からヒートポンプ給湯機の採用率を大幅に向上させていくことが必要不可欠であり、関係するステークホルダーによる検討の深掘が求められている。

一方で、既築集合住宅においても、上述の対策への検討が求められる中、高効率給湯機と位置付けられるヒートポンプ利用技術である「ハイブリッド給湯機」は、その特性上、設置スペースや重量等の課題にも対応できうることから、既築集合住宅の脱炭素化の進展を促す対策となりうるのではないかと推察される。

本調査では、既築集合住宅におけるハイブリッド給湯機の導入可能性に焦点を当て、ハイブリッド給湯機を導入する際の技術的・制度的課題を整理し、今後の活用の方角性への示唆を得ることを目的とする。

2. 実施内容

(1) ハイブリッド給湯機の現状整理

文献調査、メーカーへのヒアリング等を組み合わせて以下項目を整理する。

- ・製品ラインナップ（機器特性、タンク容量、プラグインモデルなど）
- ・挙動（電気/ガスの稼働比率、条件など）
- ・開発動向（初期モデルから最新モデルまでの変遷など）

(2) 普及の課題

文献調査、メーカーやリフォーム関係の業界団体等へのヒアリング等を組み合わせて以下項目を整理する。

- ・既築集合住宅へのハイブリッド給湯機の導入課題および制約

(3) 今後の開発動向

メーカーへのヒアリングにより整理する。

(4) 今後の活用方向性の検討

・(1)～(3)にて得られた結果から、既築集合住宅へのハイブリッド給湯機普及に向けた課題解決に資する施策案の検討・提案を行う。

(5) 打合せ

進捗状況の共有および課題解決のため、月1回程度の打合せを行い、業務を推進する。打合せは、対面、Webを協議のもと決定する。

(6) 報告書の作成

本実施内容の過程・成果を PowerPoint 形式（必要に応じて Excel 形式）にて、報告書として取りまとめる。

・調査報告書の作成

3. 提出物

本業務の成果物として以下を提出する。

・調査報告書（PowerPoint 形式、必要に応じて Excel 形式）の電子媒体：1 部

4. 委託契約期間

委託期間は以下のとおりとする。

・期間：契約締結日から 2026 年 2 月 27 日(金)

以 上